公表　事業所における自己評価結果

事業所名	アソベル東新町

公表日　令和　8　年　9　月　21　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	12人程度の児童を担当していると、月毎のスケジュールがかなりタイトになる	職員の育成、研修環境について改善の余地がある
業務改善	2	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		管理者に話をしやすい環境ができている 共有・検討の機会があり、業務改善につながっている	
	3	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	5		定期的にモニタリングを行い、保護者の意向に対する聞き取りが行われている	
	4	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	5		情報共有が行われている その日のうちに解決することができている	
	5	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	日常業務でのOJTに依存している 研修は少なく感じる	・研修内容を全体に共有していきます。
適切な支援の提供	6	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5		保護者の方からのニーズも把握し作成を行っている	
	7	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	5		保護者の方からの情報や担当とのカンファレンスを記録することで作成を適切に行うことができている	
	8	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	1	担当とのカンファレンスを考慮して、作成しているが共有の時間をとることが難しい	
	9	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5		支援の連携が取れている	
	10	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	担当者によって異なる 保護者から、担当からの意見も聞いている	
	11	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	ガイドライン自体が周知されていない 踏まえた上で、ニーズを把握し支援を考えている	
	12	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	計画書自体の共有はされておらず、各自で行っている	
	13	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	単独支援に向かうことが多い 役割分担を決め、連携して支援にあたっている	・訪問後に情報共有できる時間を設けていきます。
	14	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	2	3	時間をとることが難しい 特記すべき表れがあれば、口頭での情報共有を行っている	・訪問後に情報共有できる時間を設けていきます。
	15	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5		一方的にならないよう、訪問先の手法を尊重している	

	16	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		都度、振り返りを行っている	
	17	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に一度行っている	
関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者、訪問担当が参画している	
	19	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて連携を図り様々な方面から支援を行っている	
	20	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		現場関係者からの生の声をきける時間を持てたらもっと連続した支援になるのではと感じる	
	21	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	3	管理者が参加している 専門的な部分は難しい	・研修の機会があった際には参加できるようにしていきます。
	22	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	3	管理者が参加している 参加の場もあまりない	・協議会の前に職員間で意見交換をし、全体の意見を会議にあげていけるようにします。
	23	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		常に情報共有を行っている	
	24	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	交流できる場を用意できれば良い	・家庭と密に連携を図り、家族支援へと繋げます。
保護者等への説明等	25	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		管理者が行っている。	
	26	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5		共通理解のもと支援にあたっている	
	27	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	5		保育所等訪問支援計画を作成する際に、何に重点を置くか等、反映させている	
	28	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5		同意のもと支援にあたっている	
	29	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		信頼関係を築いたうえで行っている	
	30	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	放デイの方で行っている 回数を増やしたい	
	31	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		利用者が安心できるよう配慮している	

	32	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	放デイの方で行っている	
	33	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		十分留意している	
	34	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		場面に応じて視覚での伝達も利用している	
訪問先施設への説明等	35	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5		カンファレンスの時間や、できない場合には、持ち帰り他職員と話をしている	
	36	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	1	カンファレンスを行っている	
	37	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	1	適切に支援内容等の共有を行っている	
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		留意している	
	39	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5		一方的な押し付けにならないよう気を付けている	
非常時等の対応	40	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	対応している	
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	会社として行っている 代表者が参加している	
	42	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		日々の振り返りの中でも情報共有することで、再発防止に努めている	
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	定期的に研修がある	
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	場面はないが、対応は組織的に決定の上、保護者に十分必要性を説明したうえで記載している	